

# 監査結果に基づく措置通知

令和4年度定期監査・行政監査  
(令和6年度報告分)

さぬき市監査委員

令和4年度定期監査・行政監査結果

指摘又は意見等

監査年度	令和 4 年度	結果No.	3
監査結果の区分	検討事項	対象組織	健康福祉部 幼保こども園課
指摘・意見等の項目	保育所、幼稚園の在り方について		
指摘・意見等の内容	<p>さぬき市においては、人口減少に伴う出生者数の減少が進み、年間で200人を割るような状況である。そのような状況の中、現在は市内の公私立の幼稚園、保育所及びこども園19施設がある。そのうち、公立の施設は、幼稚園6施設、保育所4施設、こども園1施設であり、既に1施設は閉園になることが決定している。しかし、市内公立10施設を現状のままで維持するのは難しいと想定される。</p> <p>現在、公立幼稚園、保育所については、現状の施設維持や事業の継続をするに留まり、再編方針が示されていない状況である。</p> <p>今後においては、効果的な施設配置等を検証していただき、将来を見据えた方針を示すよう望むものである。</p>		

指摘又は意見等に対する措置状況等

所属課等 (対象組織)	健康福祉部 幼保こども園課
措置内容等	<p>入園児の減少に伴い、令和5年度末をもって公立幼稚園1施設を閉園した。</p> <p>こうした中、これまでに、近隣市町における就学前施設の再編等の取組状況を調査するとともに、市内公立の就学前施設における老朽化の状況や今後の課題について個別に整理を行っている。</p> <p>また、令和6年度に入り、市内の民間施設を直接訪問し、現在の経営状況や将来に向けた施設の運営方針などについて聞き取り調査を行うとともに、市長部局と教育委員会部局の関係部署において、今後の取組等について内部協議を進めてきた。</p> <p>そして、令和7年度において、就学前施設の在り方検討委員会（仮称）を設置することとし、昨今における出生数の減少など本市の現状を踏まえ、就学前施設全体の適正な在り方を協議・検討していく。</p>